普及活動情勢報告（平成３１年２月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

次年度に向けて更なる産地パワーアップを　～安芸地区事業及び機器説明会～

多くの生産者が集まった事業説明会（15日JAあき支所）

農業改良普及課は、JA、管内の市町村、関係業者などと連携して、1月15日に安芸地区、16日に芸西地区、18日に穴内・赤野地区、28日に中芸地区の各会場で「平成31年度環境制御技術事業説明会」の開催を支援し、のべ約100人の生産者が参加しました。また1月23日にはJAあき支所で「環境制御機器展示説明会」の開催を支援し、約60人の生産者が参加しました。

事業説明会では、「炭酸ガス発生機の機種はどれがよいか？」等多くの質問や事業への要望があり、機器の導入に向けて意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、事業の円滑な推進を図り、環境制御機器の更なる拡大と農家の増収に向けて支援します。

厳寒期には湿度制御で病害を予防しましょう！　～JAあき北支所一斉巡回～

早朝加温＋早めの換気で湿度を抑えましょう

１月22日と23日、農業改良普及課はJAあき北支所とJA営農指導課と連携して、安芸市高台寺・一ノ宮、江川・内原野、井ノ口、土居の4地区のナス農家50戸を一斉に個別巡回しました。内容は厳寒期の栽培管理や病害虫の情報等に加えて、環境制御技術について指導・周知しました。

普及計画で取り組んでいる高台寺・一ノ宮地区では湿度制御による病害防除を中心に、早朝加温や早めの換気について指導しました。

生産者からは、「今作から早朝加温を行って朝の除湿を行っている」といった前向きな意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、部会や研究会活動以外にも個別巡回指導を通じて、環境制御技術による病害防除技術の普及・拡大に努めます。

「明日へ男女（ともに）に手をたずさえてのつどい」を開催しました!!
～安芸・室戸地区農村女性リーダー～

活動報告する女性リーダー

１月31日、芸西村村民会館で、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会主催の「第12回明日へ男女に手をたずさえてのつどい」が開催され、地区内外の農村女性や関係機関など計100人が参加しました。

農業改良普及課は、開催準備や円滑な運営について支援しました。「ライフプランについて」の講演では、参加者から「具体的な事例を交えた資産運用の話があり、とても参考になった」といった声が聞かれ、ライフプランに応じた資産計画を作成する必要性や方法について理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの自主的な活動を支援します。

ルールを持ってユズのせん定を　～畑山支部剪定講習会～

剪定講習を行う普及指導員

2月15日、JA・柚子部畑山支部がユズのせん定講習会を開催し、48人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、実際にせん定しながら、せん定の必要性や守るべきルールについて指導しました。

生産者からは、「主枝や亜主枝の考え方など基礎を知ることができて良かった」といった意見が聞かれ、せん定について理解を深めることができました。また、幼木の仕立て方法についても話題が及び、4月に講習会を開催することにもなりました。

農業改良普及課は、今後もせん定に関する指導を継続して実施し、ユズの安定生産の実現を目指します。

県東部で初の集落営農組織の法人誕生！！　～農事組合法人庄毛ファーム設立総会～

「庄毛地区の農業を守ろう!!」

2月19日、県東部で初集落営農法人となる農事組合法人庄毛ファームの設立総会があり、地区の農家14人（うち女性7人）が参加しました。

農業改良普及課は法人化を支援するため、 集落営農塾（法人化）の開催や勉強会を行ってきました。

岩川発起人代表は「限界に来ている庄毛地区の農業を守りたい」と挨拶した後、定款や水稲、麦、ソバなどの事業計画の説明を行いました。

集落営農組織のメンバーからは、「地域の担い手を育てたい」、「地域を盛り上げたい」など庄毛地区の未来に期待を寄せていました。

農業改良普及課は、3月1日の発足に向け、法人登記の支援を行い、今後のビジョンの実現に向けて支援します。